

6. 成績について

(1) 成績評価について

- 本学での成績は筆記試験、レポート・作品等の提出物、授業態度、授業への貢献度等により総合的に単位評価を行います。
- 授業の成績評価は、S、A、B、C、Fの5段階で行い、S、A、B、Cが合格、Fが不合格です。なお、戸板ゼミナール、学科ゼミナール、学外実習、インターンシップ等、平常の授業と異なる科目は「P (Pass)」、「D (Drop)」で評価します。
- 追試験および認定試験による成績は、合格の場合は「A」以下で評価します。
ただし、学校保健安全法で指定された感染症の罹患および保健室発行の発熱証明書（医師の診断書も要提出）による欠席の追試験に関しては、「S」以下で評価します。
- 再試験による成績は、合格の場合はすべて「C」で評価します。

(2) GPA制度について

本学では成績を数値化する方法として、GPA制度を採用しています。

①GPA (Grade Point Average) とは

欧米などの大学で広く採用されている成績評価システムで、学修の到達度を測る尺度です。教育システムを改善・向上させる仕組みで、1単位あたりの成績の平均値を示しています。

②目的

GPAを算出・表示することで学修の到達度をより明確に示し、学生各自が履修管理に責任を持ち、履修した科目を自主的・意欲的に学修することを目的としています。

③評価の詳細は以下のとおりです。

| 評価 | 合否 | 評価基準 | グレードポイント | 評価基準 |
|----|-----|---------|----------|---------------------------|
| S | 合格 | 100～90点 | 4 | 当該科目の目標をほぼ完全に達成していると認められる |
| A | | 89～80点 | 3 | 当該科目の目標を十分に達成していると認められる |
| B | | 79～70点 | 2 | 当該科目の目標を概ね達成しているものと認められる |
| C | | 69～60点 | 1 | 当該科目の目標のうち最低限達成していると認められる |
| F | 不合格 | 59点以下 | 0 | 当該科目の目標に及ばない Fail (不可) |

| 評 価 | 合 否 | 評価基準 | グレード ポイント | 評価基準 |
|-----|-----|------|--------------|-------------------------------------|
| W | 不合格 | — | 0 | 試験未受験等により評価できないもの Withdrawal（放棄） |
| P | 合 格 | — | — | Pass（合） |
| D | 不合格 | — | — | Drop（否） |
| T | 認 定 | — | — | Transferred（認定） |

④算出方法

履修した科目の成績評価（5段階）を4～0までのポイントに置き換え（GP）、それに履修した単位数を乗じて、全ての科目のポイント数を合計し、履修総単位数で割ったものが平均点（GPA）となります。

なお、「P（合）」、「D（否）」または「T（認定）」で成績評価される科目はGPAに算入しません。

$$\frac{(\text{履修をした科目のGP} \times \text{履修登録をした科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{履修登録をした科目の単位数の合計}}$$

（3）成績優秀者に関する単位上限の緩和

1年次累計GPAが3.5以上の優れた成績を修得した学生については、2年次6単位を上限として上限単位数を超えて履修することができます。

（4）GPAによる履修指導

- 各学期でのGPAが1.5未満の学生に対して、教職員による履修指導を行います。
- GPA1.5未満が2期連続の学生に対して、教職員による再面談と履修指導を行い、保証人に連絡をします。

【GPA制度における退学勧告】

卒業するためには、単に単位を取得するだけでなく、一定の学力水準に達することが求められるため、以下の退学勧告の要件を定めています。

- 学期GPAが3期連続して、GPA1.00未満の場合には、学科長が保証人同席で厳重注意をし、その後も一定水準に達しない場合は退学を勧告します。